

い し だ ひ で み
石田秀三 です
 こんにちは
 市議会議員



日本共産党

- ◎ 学校・保育所の老朽校舎・施設の建て替え・改修を急いで
- ◎ 子ども医療費、中学まで窓口で無料に
- ◎ 学校給食費、多子世帯から段階的無料化へ
- ◎ 高く払えない国保料・介護保険料の引き下げ
- ◎ 地域巡回コミバス・生活交通網を整備し便利な街に
- ◎ 消えた横断歩道、書き直して安全に

鈴鹿民報

石田秀三さんの経歴と活動をお知らせします。
 2019年春号外 発行責任者 辻井良和 TEL 386-0529

**市民が主人公の街・鈴鹿市へ
 これからもがんばります。**

「あいさつ」

34才で市議会議員に初当選、それから8期32年、市民の代表として議会内外での活動を続けてきました。市制76年という鈴鹿市の歴史の半分余の期間、市職員12年間と合わせて44年、市民のための仕事に携わられたことを嬉しく、また誇りに思います。支えていただいた市民の皆様に、心から感謝申し上げます。

今期の4年間も多くの問題に取り組み、3名に前進した党市議団として子ども医療費の年齢引き上げ、生活保

護や介護医療の改善、学校トイレの改修などすすみました。また、国保料や上下水道料金、Cバス運賃の相次ぐ大幅値上げに、市民の暮らしを守る対策を示して反対しました。

市民の目線で市政をチェックする、市民の声を市政に届け反映させる、という議会の役割を果たすべく、これからもブレることなく進んでいこうと思います。

国政では安倍政権の6年間

で庶民の暮らしは悪化、格差は広がり地方は疲弊、そして平和・国民主権・基本的人権を保障する憲法まで変え、ふたたび「戦争できる国」への道を暴走しようとしています。

私は日本共産党の議員として、地方自治と市民の暮らしを守り、この悪政に正面から立ち向かい頑張ります。

市民の皆様を引き続くご支援を、どうぞよろしくお願います。

「いっしょに
 実現させましょう」

プロフィール

- 1953年、伊船町で生まれる。神戸高校、静岡大学人文学部卒。
- 1972年、大学在学中に日本共産党に入り、学生自治会で活動。
- 1975年、鈴鹿市役所に入り、耕地課、公民館（現市民センター）、図書館などで12年間勤務。職員労組役員も務める。
- 1986年末、市役所を退職し、鈴鹿市議選に立候補。
- 1987年4月、市議に初当選。以後8期連続当選。
- 現在、党鈴鹿市委員長、北勢地区常任委員、9条の会すずか世話人。
- 家族は、妻（元教員）、母、敷地内に長男一家5人。（長女・二男は独立）
- 趣味は、山歩き、読書など。



八ヶ岳に登山

その石田さんが32年間、市民の代表として、特に西部地域の皆さまの声を届けて活動してこられ、皆さまに親しまれてきたことは、石田さんの温厚なお人柄によるものだと思います。市民の生活相談活動でも、とても親身に最後まで寄り添うという、大変難しいことも自らでできてしまう人です。

地域での活動も、町の役員として「伊船新田4

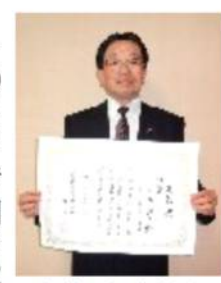
私は石田秀三さんと、市議会でのお付き合いは24年になりますが、それ以前から約40年近い付き合い合いです。子どもの年齢が近いこともあって、親子連れで入道岳へ登ったりもしました。



田でコメを作ってます

市議会での石田さんは、いつも論戦をリードする役割を果たし、議会の中の要であると思っ

ていて、すそ野を広げて自然の恵みを届け人々の暮らしを支える。石田さんはそんな山のように存在感のある方だと、私は思っています。



在職30年表彰を受けました

このように石田さんは、市政の大きな問題についての考え方、何を基準に見るかという視点の置き方など、常に文才あふれ読書家の石田さんならではの

問題提起と、解決策への展望を示してきた素晴らしい政治家だと思います。

同和問題では、迷走する議論に一筋の光のように、間違いを引き起こす根拠をきっちり指摘し、他の議員さんからも「同和問題のとらえ方がすっきりした」と声を寄せられたほどです。

ぜひ皆さまの周りで石田秀三さんへのご支援を広げていただきますよう心から願います。

私も応援します
 桑原 篤（自由ヶ丘）
 年金者組合鈴鹿支部長
 前田 崇訓（郡山町）
 鈴鹿民商事務局長
 川北 秀洋（徳田町）
 西光寺住職
 加藤次郎（山本町）
 足立 房枝（自由ヶ丘）
 藤本 憲一（国府町）
 中村 昇（小社町）



鈴鹿市議会議員 **森川ヤスエ**

**鈴鹿の山のような
 存在感ある人です**

「00年」の記念事業を取り組むなど、地元の皆さまからの信頼も大きいのではと思います。

鈴鹿の山々が堂々としていて、すそ野を広げて自然の恵みを届け人々の暮らしを支える。石田さんはそんな山のように存在感のある方だと、私は思っています。

導水「問題では、情報公開を活用して県のずさんさや市の給水計画の過大さを数字で示し、計画の大幅な縮小を実現しました。



街頭から議会報告

ご相談・ご意見は石田秀三事務所へ
 鈴鹿市伊船町 2751 TEL 371-0423 FAX 371-2469
 ホームページ <http://www.jcp-mie.jp/ishida/>
 生活相談地域【主な小学校区】深伊沢、鈴西、庄内、椿、石薬師、井田川、国府、庄野、加佐登、合川、天名、郡山

安心して暮らせる町・鈴鹿を 住民の皆さんと共にすすみます



完成間近の306バイパス

国道306伊船バイパス もうすぐ開通

91年市議会で「伊船バイパスの建設」を求め、翌年から約2キロのバイパス計画がスタート。用地取得が難航したことなどで遅れましたが、本年3月に完成します。
伊船町・長沢町の集落内を通り抜ける車がバイパスに回って、やっとなりになります。



屏風岩への山道を調査

アベ政治の暴走ストップ！

安保法制、秘密保護法、憲法9条改悪・・・アベ政権の危険な暴走にストップかけようと始まった市民の運動に参加し、講演会、パレード、宣伝、署名などと共に広がっています。



戦争法反対集会で

鈴鹿の自然は 市民の財産

市民が安全に自然と親しめるように、小岐須溪谷や入道岳登山道などの現場に登って調査、整備を求めました。また農家への支援、耕作放棄地の対策なども議会でも取り上げました。



長年求めつづけた 中学校給食が実現

87年の最初の選挙で「中学校でも給食を」と公約し、歴代市長に求め続けてきました。
99年からは市民による「実現する会」とともに運動をすすめる。ついに15年5月、給食センター方式での全校完全給食が実現しました。



中学校給食の配膳風景

「塩漬け」市有地の 活用・処分すすむ

バブル時代から20年以上も、利用のめども立たず保有しているだけの多くの市有地を、「オーラル市役所」での解決を11年に提案。
以後市の努力で売却・活用がすすみ、今期は西条保育所の移転用地に活用、また高岡台では住宅用地に売却が行なわれました。



西条保育所建設現場



高岡台の住宅地造成

毎年市民の 要望まとめ、 市長に 予算要求

共産党市議団では、毎年の予算編成に市民の願いを反映させようと、末松市長に予算要求を行なっています。



末松市長より回答を受け取る

まちがった「人権啓発」 を正面から批判、 看板外させる

「いつまでも『差別意識』はなくなるらない」と市民に押しつける、まちがった「人権」同和「啓発」をただすことを求め、17年市役所前の「部落差別をなくそう」の看板を外させました。



「人権尊重のまち」に書き換えた看板

毎回本会議で質問に立つ

初当選以来、定例議会での一般質問を毎回おこなない、18年12月で127回となりました。市政のあらゆる問題について、4代の市長と論戦を交わしてきました。



本会議で質問

32年間欠かさず、 バイクで議会報告届ける

「ガラス張りの議会にします」の公約をまもり、議会ごとに党市議団の議会報告「すずか民報」を発行し、地元地域にはバイクで全戸に届けています。
個人ニュース「議会レポート」と共に、市民に親しまれています。



愛車スーパーカブに乗って